

災害時の「やさしい日本語」、 —どう“まち”に根付かせるか？—

一橋大学国際教育交流センター教授 庵 功雄

isaoiori@courante.plala.or.jp

<http://www12.plala.or.jp/isaoiori/>

1. はじめに

—外国人が増えてきているという事実

- 近年、外国人の姿を見かける機会が増えてきた
- 現在の日本には既に多くの外国人が暮らしており、都市部においても地方においても、外国人抜きには経済活動が成り立たなくなっている
- 外国人依存度、業種・都道府県ランキング
- (日本経済新聞電子版2019.3.18更新)
- 外国人労働者、最多の166万人 19年10月末
- (日本経済新聞電子版2020.1.31)

2. 「やさしい日本語」という取り組み

- これからの日本社会を考える上で、外国人の受け入れは不可避
- → 外国人の受け入れに関わる様々な問題の中で「ことば（日本語）」の観点から考える
- → **〈やさしい日本語〉**

3. 〈やさしい日本語〉 前史

- 〈やさしい日本語〉 が現れるまで
- 日本語母語話者向けの対策
- 漢字の使用を制限する漢字制限論（福沢1873）
- 漢字の廃止を主張するローマ字運動やかな文字運動は明治初期から存在

3. 〈やさしい日本語〉 前史

- 減災のための「やさしい日本語」
- 阪神淡路大震災（1995年）では外国人も被災
- 日本語や英語で情報を取れず、復興過程で必要とされる各種情報から阻害された人たちも数多く存在

3. 〈やさしい日本語〉 前史

- 減災のための「やさしい日本語」
- (1) 容器をご持参の上、中央公園にご参集ください
- (2) 容器(ようき)をご持参(じさん)の上(うえ)、中央公園(ちゅうおうこうえん)にご参集(さんしゅう)ください
- →(1)を(2)に変えても理解できない
- (3) 入(い)れるものを持(も)って、中央公園(ちゅうおうこうえん)に来(き)てください
- →非漢字圏の外国人にわかるようにするには、(3)にしなければダメ

3. 〈やさしい日本語〉 前史

- 減災のための「やさしい日本語」
- 復興過程で外国人が二重に被災
- → 言語学者や放送関係者などが共同で、災害時の外国人に対する情報提供の手段として簡略化された日本語を使うための研究を行った
- → 「やさしい日本語」

3. 〈やさしい日本語〉 前史

- 減災のための「やさしい日本語」 (松田ほか2000)

A <原文>

けさ5時46分ごろ、兵庫県の淡路島付近を震源とするマグニチュード7.2の直下型の大きな地震があり、神戸と洲本で震度6を記録するなど、近畿地方を中心に広い範囲で、強い揺れに見舞われました。

B <言い換え文>

今日、朝、5時46分ごろ、兵庫、大阪、などで、とても大きい、強い地震がありました。地震の中心は、兵庫県の淡路島の近くです。地震の強さは、神戸市、洲本市で、震度が6でした。

3. 災害時から平時へ

— 〈やさしい日本語〉の誕生—

- 災害時の情報提供は重要な課題だが、外国人が過ごす圧倒的に多くの時間は平時
- → 平時における外国人に対する情報提供の方策を研究対象とする
- → 〈やさしい日本語〉

4. 外国人に対する情報提供と 〈やさしい日本語〉

- 外国人に対する情報提供に関する視点：
- 災害時 / 平時
- 短期滞在 / 定住目的

4. 外国人に対する情報提供と 〈やさしい日本語〉

- **災害時の情報提供**
- 可能な限り、多言語（英語を含む）で情報を出す
- → 機械翻訳に無条件に頼るのは危険

4. 外国人に対する情報提供と 〈やさしい日本語〉

- **災害時の情報提供**
- 可能な限り、多言語（英語を含む）で情報を出す
- → 機械翻訳に無条件に頼るのは危険
- 1. 発信する文書を事前にわかりやすい日本語
● に直す「日日翻訳」が必要
- (4)〇〇川周辺に避難勧告が出ました。
- (5)〇〇川周辺への避難勧告が出ました。
- → (6)〇〇川の近くに住んでいる人に、避難勧告
● が出ました。

4. 外国人に対する情報提供と 〈やさしい日本語〉

- **災害時の情報提供**
- 1. 発信する文書を事前にわかりやすい日本語に
- 直す「日日翻訳」が必要
- (6)〇〇川の近くに住んでいる人に、**避難勧告が
出ました。**
- →(6)を翻訳しただけでは不十分
- (7)〇〇川の近くに住んでいる人は、××に**避難
してください。**
- (8)〇〇川の近くに住んでいる人は、××に**避難
した方がいいです。**

4. 外国人に対する情報提供と 〈やさしい日本語〉

- **災害時の情報提供**
- (6)〇〇川の近くに住んでいる人に、**避難勧告が出ました。**
- (7)〇〇川の近くに住んでいる人は、××に**避難してください。**
- (8)〇〇川の近くに住んでいる人は、××に**避難した方がいいです。**
- →日本語母語話者にとっても同じ
- 「命を守る行動を取る」とはどうすること？
- →個別化された情報提供が必要

4. 外国人に対する情報提供と 〈やさしい日本語〉

- **災害時の情報提供**
- 2. 各言語の翻訳者をインターネットを通して組織化しておく
- →災害の現場にその言語ができる人がいなくても、情報の正確さを担保できるようになる
- →多言語の1つとして〈やさしい日本語〉でも情報提供
- +
- 災害のパターンを事前に予測して、避難勧告の文面などを定型化し、それぞれについての「わかりやすい日本語」版と各言語版（〈やさしい日本語〉版を含む）を用意しておく

4. 外国人に対する情報提供と 〈やさしい日本語〉

- **平時の情報提供**
- **旅行者、短期滞在者向け**
- **英語での正確な情報提供が重要**
- → **和製英語の禁止**



pixta.jp - 4804642



4. 外国人に対する情報提供と 〈やさしい日本語〉

- **平時の情報提供**
- **旅行者、短期滞在者向け**
- 公的な掲示物はその土地に詳しい人ではなく、その土地に不案内な人のため
- → 英語表記は「日本語がわからない人がわかる」ため
- ← 「和製英語」を使うことはその趣旨に反する

4. 外国人に対する情報提供と 〈やさしい日本語〉

- **平時の情報提供**
- **旅行者、短期滞在者向け**
- **地下街などの乗換案内の表示**
- →表示に沿って乗り換えられるかを実際に歩いて確認
- **電車などの車内放送**
- →次駅の名前や乗り換え路線名などを聞き取れる音量で放送したり、文字表示を同時に利用可能にする
- →これらは、外国人に限らず、その土地に不慣れた日本語母語話者や、視覚や聴覚などに障害を持つ人にも重要

4. 外国人に対する情報提供と 〈やさしい日本語〉

- 平時の情報提供
- 意図不明な掲示



4. 外国人に対する情報提供と 〈やさしい日本語〉

- **平時の情報提供**
- **定住外国人向け**
- 1) 英語 2) 多言語 3) 〈やさしい日本語〉
- 1) は不可 (岩田2010)
- 2) は自動翻訳なら可
- 定住外国人の人口集計上位20位 (定住外国人の95%) の公用語は17言語、上位50位 (99%) だと37言語
- 自動翻訳が不可なら、多言語対応は人手での翻訳
- → その言語の翻訳ができる人が住んでいる地域でのみ、その言語での情報が得られる
- → 多言語化を進めることがかえって地域間の情報の格差を増大させる危険性がある

4. 外国人に対する情報提供と 〈やさしい日本語〉

- 平時の情報提供
- 定住外国人向け
- 1) 英語 2) 多言語 3) 〈やさしい日本語〉
- 1) 2) は不可
- → 3) 〈やさしい日本語〉
- → 自治体が出す公的文書の書き換え (岩田2016)
- NHKの News Web Easy

5. どう“まち”に根付かせるか

- **必要なこと**
- 1. 地域社会の共通言語としての〈やさしい日本語〉
 - … 〈やさしい日本語〉の普及
- 2. 2つの〈やさしい日本語〉
 - … 〈やさしい日本語〉の区別
- 3. 災害に事前に備える
 - …提供する情報の整備

5. どう“まち”に根付かせるか

- **地域社会の共通言語としての〈やさしい日本語〉**
- 定住外国人が増えるということは、地域社会に彼／彼女たちが生活するようになるということ
- → 何らかの共通言語が必要となる
- → 1. 英語は不適當（岩田2010）

5. どう“まち”に根付かせるか

- **地域社会の共通言語としての〈やさしい日本語〉**
- 定住外国人が増えるということは、地域社会に彼／彼女たちが生活するようになるということ
- → 2. 日本語母語話者が調整を加えない日本語（普通の日本語）も不可
- ← 外国人を語学能力だけで判断することを意味し、「多文化共生」という考え方に合致しない
- ← 日本語母語話者が何らかの理由で海外で生活するようになった際に、自らの能力をその国のことばができるかどうかだけで判断されたらどう感じるか？

5. どう“まち”に根付かせるか

- **地域社会の共通言語としての〈やさしい日本語〉**
- **地域社会の共通言語**
- → 1) 英語 2) 普通の日本語、は不可
- → 3) 論理的に考えて、地域社会の共通言語が生まれるとすれば、それは、日本語母語話者が一定の調整を加えた日本語、〈やさしい日本語〉しかあり得ない

5. どう“まち”に根付かせるか

- **地域社会の共通言語としての〈やさしい日本語〉**

〈これまで〉

外国人側に一方的に日本語習得を要求

〈これから〉

日本語母語話者〈受け入れ側の日本人〉

↓ コード（文法、語彙）の制限、
日本語から日本語への翻訳

〈やさしい日本語〉（地域社会における共通言語）

↑ ミニマムの文法（Step1, 2）と語彙の習得

日本語ゼロビギナー〈生活者としての外国人〉

→実現するか否かは日本語母語話者の意識次第

5. どう“まち”に根付かせるか

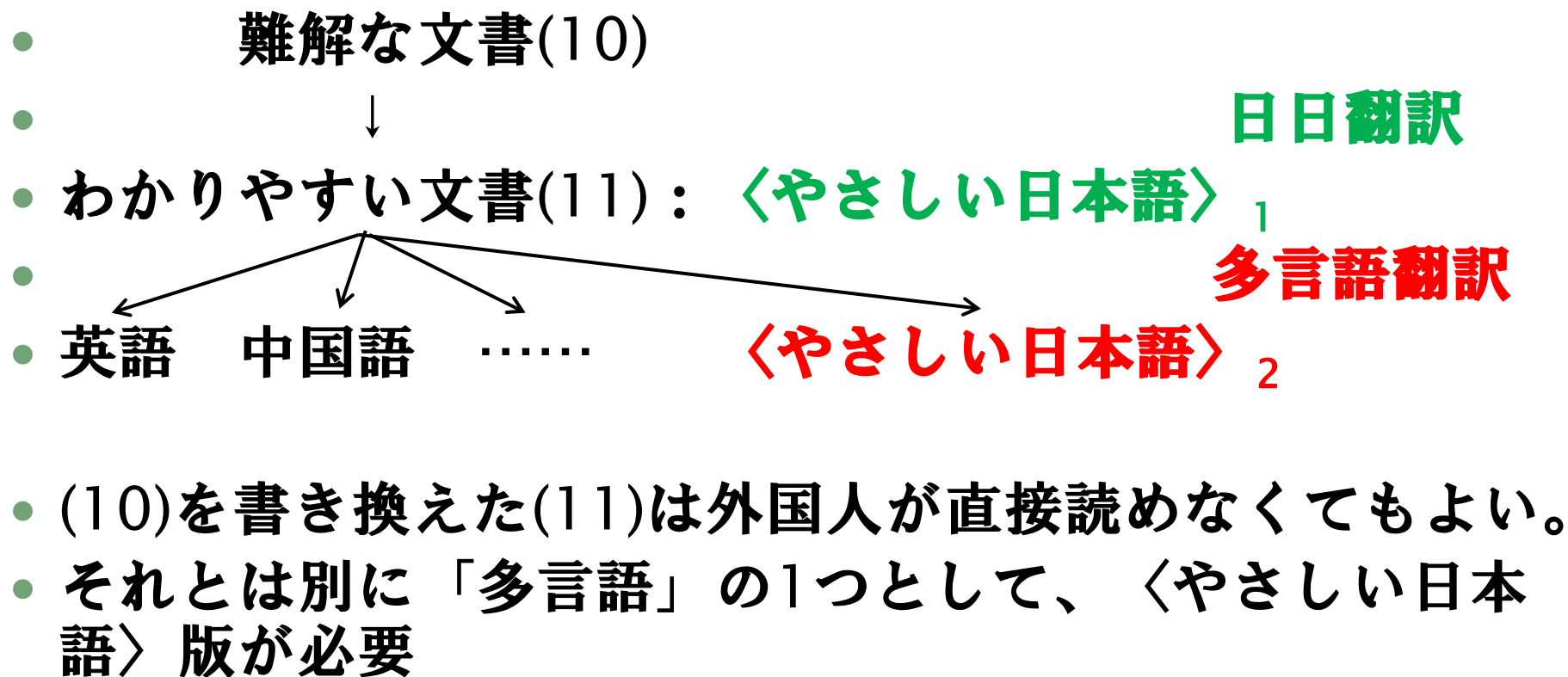
- 2つの〈やさしい日本語〉
- 自治体などから発信される情報は難しい
- ↓
- 情報を「日本語母語話者が普通に理解できる／読む気になる」ものに書き換える必要

5. どう“まち”に根付かせるか

- 2つの〈やさしい日本語〉
- (10)保育園の入園基準（一部）
 - 1. 昼間に居宅外で労働することを常態としている場合
 - 2. 昼間に居宅内で乳幼児と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としている場合
 - 3. 妊娠中であるか又は出産後間がない場合
- (11)
 - 1. 保護者が、昼間、会社などで働いている場合
 - 2. 保護者が、昼間、自営業で働いている場合
 - 3. 母親が、妊娠しているか、出産してすぐの場合

5. どう“まち”に根付かせるか

- 2つの〈やさしい日本語〉



5. どう“まち”に根付かせるか

- 2つの〈やさしい日本語〉
- 〈やさしい日本語〉₁ :
 - 日本語母語話者 (& 上級非日本語母語話者) が読んで確実に内容がわかる「中間言語」。初級修了レベルの非母語話者は読めなくてもよい。
- 〈やさしい日本語〉₂ :
 - 初級修了レベルの非日本語母語話者が読めるもの。「多言語」の1つ。
 - → この2つはどちらも必要

5. どう“まち”に根付かせるか

- **災害に事前に備える**
- 災害時には多言語で情報を出すことを前提とした上で、多言語の1つとして、**〈やさしい日本語〉₂**でも情報を出すようにする必要がある
- +
- 災害のパターンを事前に予測して、避難勧告の文面などを定型化しておき、**〈やさしい日本語〉₁**版と各言語版（**〈やさしい日本語〉₂**版を含む）を用意しておく

5. どう“まち”に根付かせるか

- **災害に事前に備える**
- 災害のパターンを事前に予測して、避難勧告の文面などを定型化しておき、**〈やさしい日本語〉₁**版と各言語版（**〈やさしい日本語〉₂**版を含む）を用意しておく
- <どうやって？>
- 行政、気象などの専門家が災害時の避難行動を類型化し、それぞれに対応した情報の原案を作成
- それを言語学や翻訳の専門家が**〈やさしい日本語〉₁**に翻訳
- **〈やさしい日本語〉₁**版に基づいて、（**〈やさしい日本語〉₂**を含む）多言語による情報配信の原案を作成
- →災害時には、インターネットを通じて、各人が避難情報などを選択できるようにしていく必要がある

6. おわりに

- 〈やさしい日本語〉には、難解な情報を日本語母語話者が理解できるように整理した〈やさしい日本語〉₁と、多言語対応の1つとしての〈やさしい日本語〉₂がある
- 災害時に重要なのは、出す情報を事前に整理して、それを〈やさしい日本語〉₁版にしておくことと、その〈やさしい日本語〉₁版にもとづいて、英語などの多言語版（〈やさしい日本語〉₂を含む）を作っておくことである
- 地球温暖化の影響で大規模な水害は今後毎年のように起こることが予想される。その際、少しでも被害を減らすには、災害が来る前に情報を整理し、対応と情報の発信の仕方を具体的に想定しておくことが必要

参考文献（主なもの）

- アルク（2019）「〈やさしい日本語〉の世界」『月刊日本語』アルク
<http://www12.plala.or.jp/isaoiori/alc-yasashii-nihongo.pdf>
- 庵 功雄（2016）『やさしい日本語—多文化共生社会へ—』岩波新書
- 庵 功雄・イ・ヨンスク・森 篤嗣編（2013）『「やさしい日本語」は何を目指すか—多文化共生社会を実現するために』ココ出版
- 庵 功雄・岩田一成・佐藤琢三・柳田直美編（2019）『〈やさしい日本語〉と多文化共生』ココ出版
- 岩田一成（2010）「言語サービスにおける英語志向—「生活のための日本語：全国調査」結果と広島の事例から—」『社会言語科学』13-1
- 岩田一成（2016）『読み手に伝わる公用文』大修館書店
- 松田陽子・前田理佳子・佐藤和之（2000）「災害時の外国人に対する情報提供のための日本語表現とその有効性に関する試論」『日本語科学』7
- NHKラジオ「Nらじ」2019年12月10日「多文化共生に向けて注目される“やさしい日本語”」（公開は2月10日まで）
- https://www.nhk.or.jp/radio/ondemand/detail.html?p=4774_01

ご清聴ありがとうございました